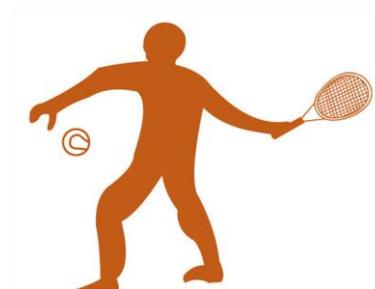


組織と従業員を元気にする

健康経営のススメ

～顧客満足度向上への経営戦略～



「健康経営」 何ですか

我が国の人口減少によって、

働く人が減少していくこと

働く人の高齢化が進むこと



その対策の一つが健康経営です。

利益創出のためには、従業員の健康が必要不可欠です。

元気のない従業員は、顧客にどのような印象を与えるでしょうか

「もうここには二度と来ない」 企業の価値を喪失します。

組織・会社の未来



組織の経営を持続するためには

「今」が大切ですが、同時に「将来」も大切です。【投資】

「経営者」と「従業員」の健康も大切です。【健康投資】

先行きが不透明な時代では、いつも「両立」させなければ
組織の成長が望めません。

高齢者の就業

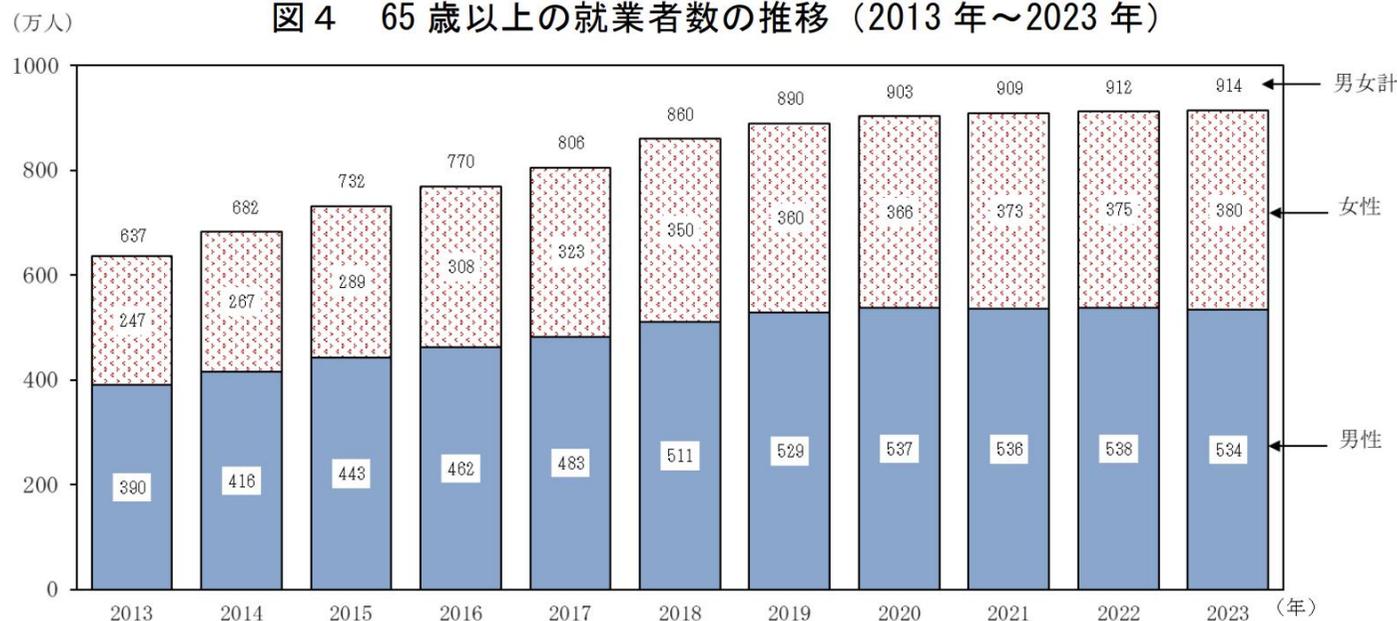
65歳以上の就業者数は、20年連続で増加し914万人と過去最多

2023年の65歳以上の就業者^{※1)}数は、2004年以降、20年連続で前年に比べ増加し、914万人と過去最多^{※2)}となっています。(図4)

※1) 就業者とは、月末1週間に収入を伴う仕事を1時間以上した者、又は月末1週間に仕事を休んでいた者

※2) 比較可能な1968年以降

図4 65歳以上の就業者数の推移(2013年～2023年)



高齢者に
特化した
ヘルスケア
(産業保健)
の必要性

人的資本の向上
↓
職務適性
健康適性
体力適性
柔軟な働き方
↓
健康保持増進
働き方=健康

資料：「労働力調査」(基本集計)

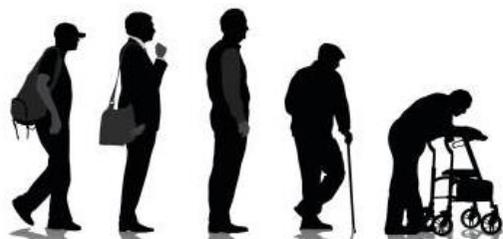
注) 数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

社会が高齢化すると

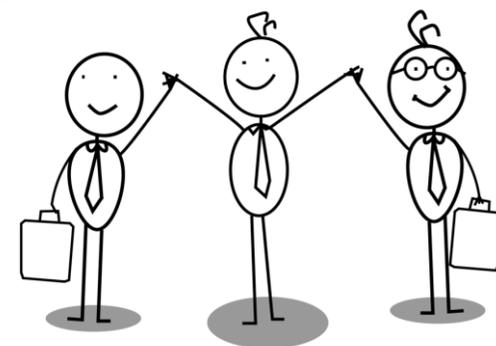
働く人の高齢化によって

健康問題 高血圧、糖尿病、脂質異常、認知症など

体力問題 転倒などのけがが多くなる(労災)



これらは予防できるのです。



顧客満足度を向上させるための基本＝従業員満足度の充足
I am OK / You are OK

健康経営とは

企業が成長するためには、働く人も成長することが必須です。

健康経営は、経営者が組織の活性化と働く人の健康づくりを両立させて進めていくことです。

つまり、元気な組織づくりと従業員の健康づくりを経営者と従業員が一体となって一歩ずつ進めていくことです。

「手遅れ」に先手を打つことができるのが健康経営です。



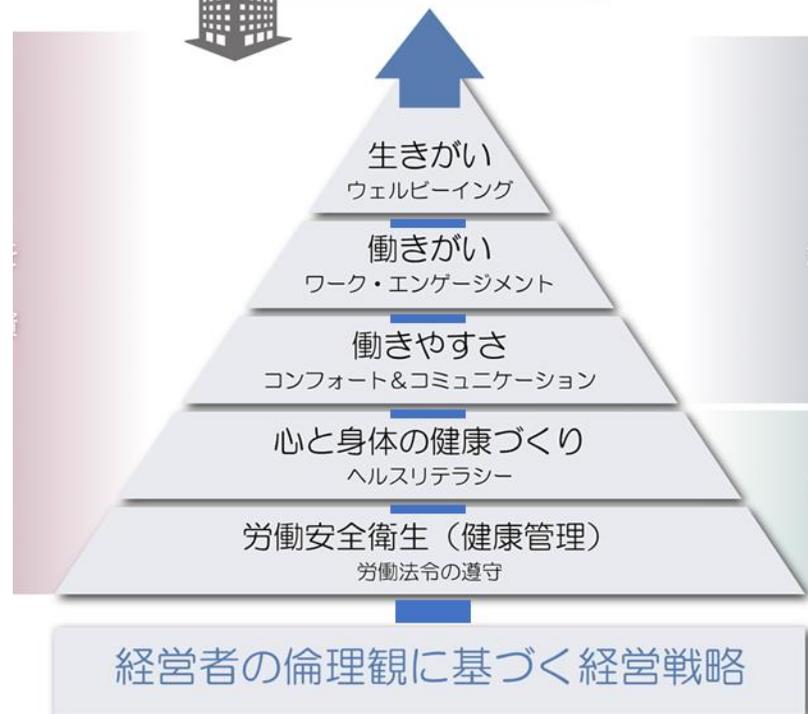
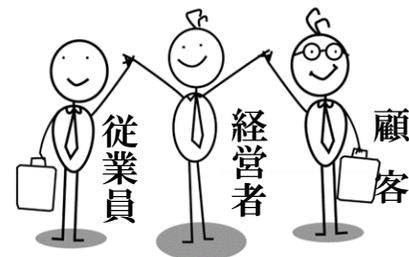
働く人が取り組む健康経営

働く人ができること

働く人ができないこと

働く人の健康

自分の健康は自分で創る



組織の元気

元気に働ける職場づくり

経営者ができること

経営者ができないこと

経営者が取り組む健康経営